

V 研究活動と研究環境

1 専任教員の教育・研究業績

(表24)

所属 心理こども学科	職名 准教授	氏名 南 夏世	大学院における研究指導担当 資格の有無 (無)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		2004年(平成16)4月～ 2008年(平成20)4月～ 2009年(平成18)3月～	<p>理論とピアノ個人レッスンの授業を分離するのではなく、同じ時間に同一教師が指導し、総合的に音楽能力が向上できるよう工夫をしている。</p> <p>授業を円滑に、また学生同士が萎縮することなく刺激しあって学習できるように、入学時に習熟度テスト（実技とペーパー）を実施し、自分の技能に適した環境で学習ができるよう、工夫している。</p> <p>1年から4年まで学年の目標を定め、1年間の学習成果を発表する音楽会を開催。学生自身が自主的に練習計画から実践まで行うよう、総合的な学びの場として指導している。</p>
2 作成した教科書、教材、参考書		2006(平成18)年9月 2008(平成20)年10月 2010(平成22)年10月	<p>YAMAHA MUSIC MEDIA CORPORATION コード学習のための楽典、弾き歌い曲、ピアノ曲、生活発表会のための変奏曲、保育士模擬試験問題などを掲載。</p> <p>YAMAHA MUSIC MEDIA CORPORATION 保育園、幼稚園でよく歌われている80曲に、簡易伴奏とコード解説、オリジナル伴奏を作るための手引きを加えたレパートリー集。</p> <p>保育園 幼稚園の表現活動に使いやすい動きの曲と、保育者の意思に応じて曲を提供できるようにするための変奏の手引きをまとめた曲集。</p>
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			

4 その他教育活動上特記すべき事項			
1) 行事における編曲活動		2008(平成20)年から	学校行事であるクリスマスキャロルや音楽会などの行事においては、隨時編曲を行い、学生たちのニーズに合った曲を準備している。
2) 小学校音楽会用『碧空へ』編曲		2009(平成21)年から	小学校音楽会のために、和太鼓を取り入れた曲『碧空へ』を編曲し、出版。神戸市の小学校で演奏されている。
3) 公開授業「楽譜へのアプローチ」		2010(平成22)年10月30日	西洋音楽の楽譜の変遷を紹介し、楽譜の意味や役割について論述。また、五線譜や記号・用語など楽典の解説と演習。
4) 学科音楽会開催		2007(平成20)年から	心理こども学科の音楽会を開催。ピアノ独奏・合奏・合唱・アンサンブルなど多岐にわたるプログラムの指導を行う。
5) 生涯学習講座「和音を感じる」		2014(平成25年)12月3日	コミスタこうべ生涯学習講座。和音の種類を説明し、曲の中で実際にどのように使われているかを解説。

II 研究活動

著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号 数）等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	
著書					
弾こう♪歌おう♪こども とともに	共著	2006年(平成18) 9月	YAMAHA MUSIC MEDIA CORPORATION	坂井康子 岡林典子 山崎和子	
レパートリー集	共著	2008年(平成20)10月	YAMAHA MUSIC MEDIA CORPORATION	坂井康子 岡林典子 佐野仁美	
新しい日本の歌 1	共著	2009年(平成21)10月	マザーアース	中西 覚 下村正彦 古瀬徳雄他 2頁～17頁	
新しい日本の歌 2	共著	2010年(平成22)10月	マザーアース	中西 覚 下村正彦 古瀬徳雄他 20頁～31頁	
新しい日本の歌 3	共著	2011年(平成23)10月	マザーアース	中西 覚 下村正彦 古瀬徳雄他 20頁～33頁	
新しい日本の歌 4	共著	2012年(平成24)10月	マザーアース	中西 覚 下村正彦 古瀬徳雄他 12頁～26頁	
新しい日本の歌 6	共著	2014年(平成26)11月	マザーアース	中西 覚 下村正彦 古瀬徳雄他 23頁～36頁	
なるほどかんたん！ リズム曲集 楽しゅノリハシ 仲間とハモる青春の想い 中	共著	2015年(平成27)1月	サーべル社	坂井康子 岡林典子 衣川久美子他	
	共著	2016年(平成28)3月	共同音楽出版社	上田 豊 大串 和久 麓 洋介	

論文					
和太鼓を使った新しい合奏教材曲の試作と活用 リズム表現活動におけるピアノ演奏法習得の試み 幼小の子どもの育ちをつなぐ音楽活動の試み 様式の異なる2つの遊び 歌からの学び	単著 単著 共著 共著	2010年3月 2013年3月 2015年11月 2016年3月	全国大学音楽教育学会 神戸海星女子学院大学紀要 関西楽理研究 神戸海星女子学院大学紀要	坂井康子 岡林典子 佐野仁美 岡林典子	
III 学会等および社会における主な活動					
全国大学音楽教育学会、日本音楽教育学会、日本表現学会、ひょうご日本歌曲の会、響の会および神戸音楽家協会会員					
幼小連携をふまえた 音楽教育プログラムの開発 保育者養成課程の学生が抱いている「わらべうた」のイメージ 子どもの表現力の育ちをつなぐ音楽教育プログラムの開発 幼小連携に対する学生の理解	共 共 共 共	2013年～2015年 2014年(平成26)9月19日 2015年(平成27)5月9日 2015年(平成27)9月18日	JSPS（課題番号25381279）の助成 全国保育士養成協議会 日本保育学会 全国保育士養成協議会	坂井康子 岡林典子 佐野仁美 坂井康子 岡林典子 佐野仁美 坂井康子 岡林典子 佐野仁美 坂井康子 岡林典子 佐野仁美	ポスター発表 ポスター発表 ポスター発表

2 専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員）

(表25)

所属	心理こども学科	職名	准教授	氏名	南 夏世
展覧会・演奏会・競技会等の名称		場 所	開催日時	発表・展示等の内容等	
【リサイタル】 南 夏世 作品展	兵庫県立美術館		2006年 2月11日	作品発表ソロリサイタル。合唱曲、マリンバ、オペラの新作を発表。	
【作品】 新しい日本の歌・2	兵庫県立芸術文化センター		2009年11月11日	ソプラノのための、柴野京子作詞《在るもの》《海》の2曲を発表。	
新しい日本の歌・3	兵庫県立芸術文化センター		2010年11月28日	バリトンのための、玉川侑香作詞《竹トンボ》 井上修子作詞《秋の口上=三人衆》の2曲を発表。	
新しい日本の歌・4	兵庫県立芸術文化センター		2011年11月18日	ソプラノのための、井上修子作詞《あたたかい冬》 佐野博美作詞《生返事》佐藤勝太作詞《春を呼ぶ声》の3曲を発表。	
響の会 第19回作品発表コンサート	兵庫県立芸術文化センター		2012年10月23日	《RIPENING for alto saxophone and piano》	
新しい日本の歌・6	兵庫県立芸術文化センター		2013年11月28日	ソプラノのための、柴田実作詞《合歓の花》瑞木よう作詞《ねむのはな》 井上修子作詞《どれみふあそらでらしどみたよ》の3曲を発表。	
響の会 第20回作品発表コンサート	兵庫県立芸術文化センター		2014年12月4日	《朝焼けの月》アルトサックスデュオ&ピアノ	
神戸海星50周年記念行事	神戸海星講堂		2015年11月	神戸海星50周年を記念して、2015年度児童文学受講生による作詞で合唱曲《Be Smiley》を作曲。	